

科学技術ビッグプロジェクト (スーパーコンピューター)

- 革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ（HPCI）の構築（HPCI戦略プログラムを除く）【文部科学省】
- HPCI戦略プログラム【文部科学省】
- ポスト「京」の開発【文部科学省】

行政改革推進本部事務局説明資料

科学技術ビッグプロジェクト（スーパーコンピューター）

1. 投入された国費に見合う成果が得られているか

H P C I（革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ）

・スーパーコンピューター「京」を中核とし、国内の大学等のスーパーコンピューターを高速ネットワークで繋ぎ、データの共用や共同分析が可能となる計算環境（HPCI）を構築



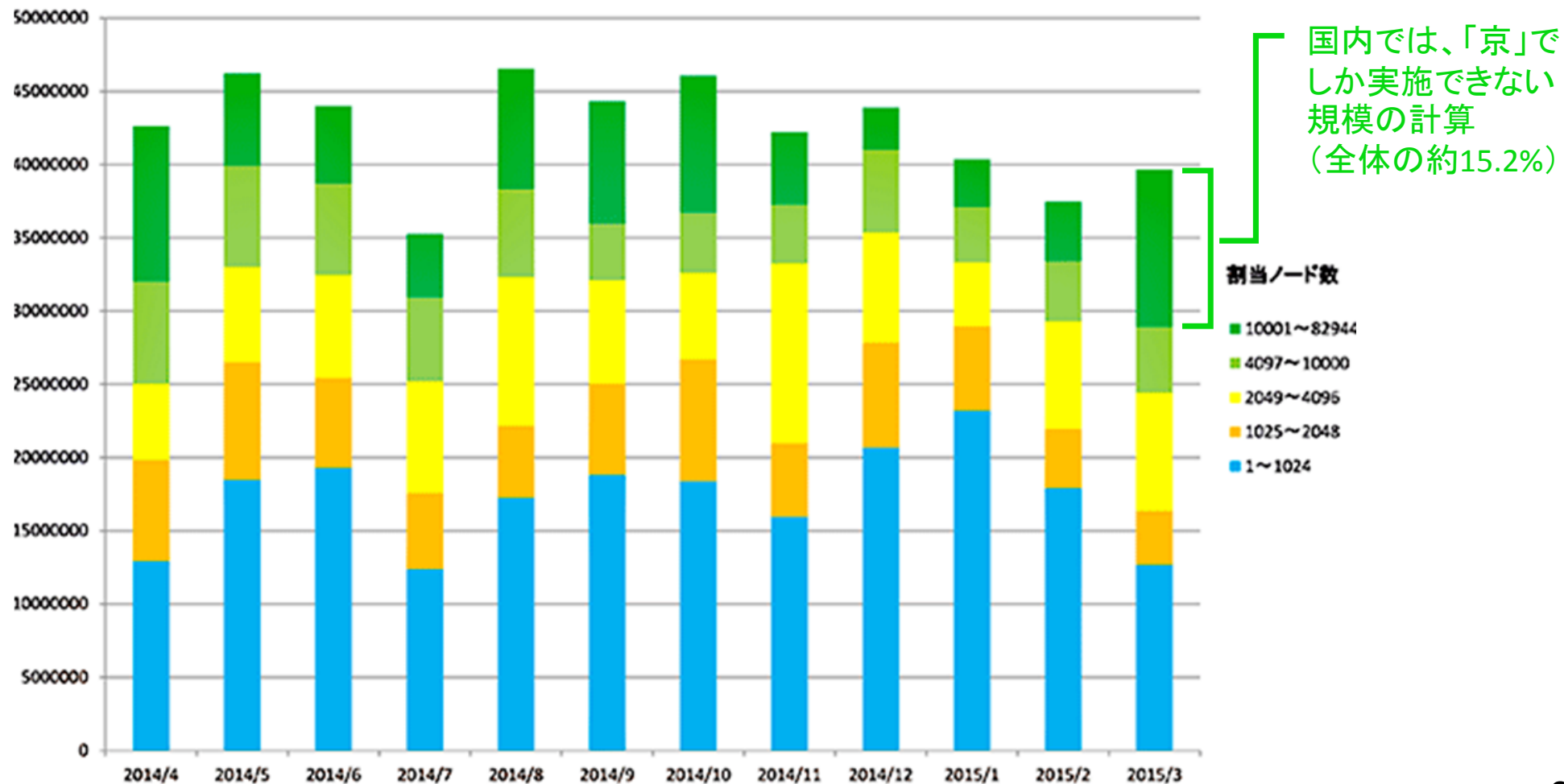
開発/運営費用

「京」の総プロジェクト開発費：約1,111億円
「京」、HPCIの年間の運営費：約130億円
（うち、「京」の運営費：約110億円）

2. 「京」の高い演算性能を必要とする研究利用のニーズは十分にあるか

スーパーコンピュータ「京」の利用状況 (ジョブ規模別計算資源利用状況(2014年度))

(ノード時間積: 割当ノード数 × 利用時間(H))



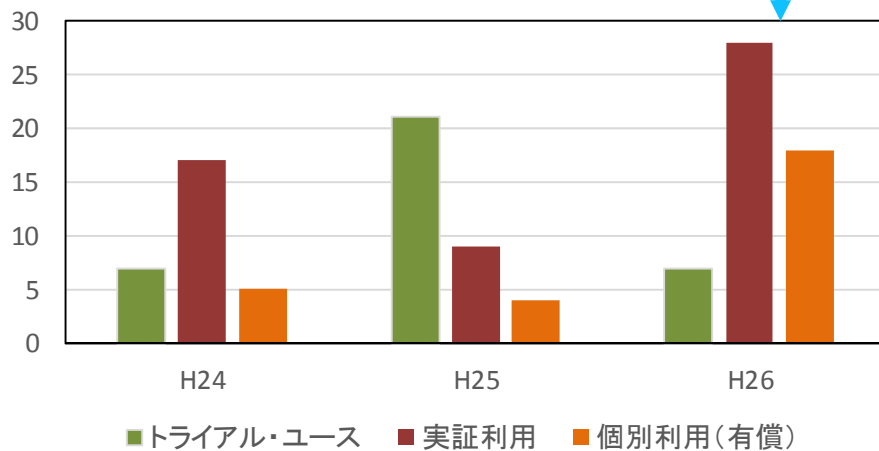
3. 「京」の産業利用は適切かつ十分か / 4. 「京」の選定手続きについて透明性は十分か

スーパーコンピュータ「京」の産業利用の状況

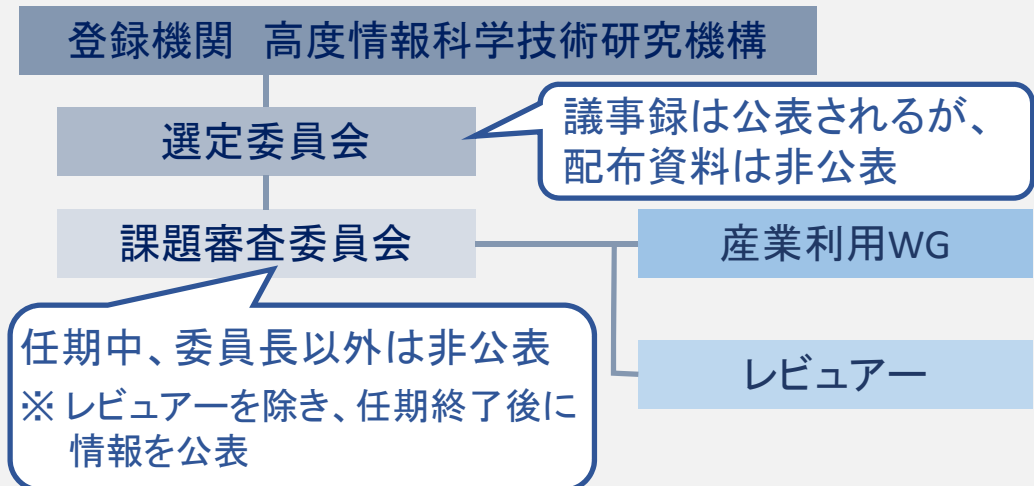
【平成26年度】

(本事業) 戦略プログラム利用枠 50%程度	(公募)		京調整 高度化枠 15%程度	必要に応じ設定
	一般課題 22%程度	若手 人材 育成 課題 5% 程度		

産業利用課題の採択件数の推移



利用課題の選定手続



5. ポスト「京」の開発・製造費、運営費に見合う成果が得られるのか

ポスト「京」の開発

2020年をターゲットとする世界最高水準の汎用性のあるスーパーコンピュータのポスト「京」の実現を目指す

総事業費

ポスト「京」の開発 総事業費：約1,300億円
国費分： 約1,100億円

開発目標

- ①最大で「京」の100倍のアプリケーション実効性能
- ②30～40MWの消費電力（「京」は12.7MW）

成果目標

我が国が直面する社会的・科学的課題の解決に資するため、本プロジェクトを着実に推進する。【プロジェクトの進捗率】

開発スケジュール



論点のまとめ

- ・「京」やHPCIの運営に年間約130億円の国費が投入されているが、これに見合う成果が得られているか。
- ・「京」の高い演算性能を必要とする研究利用のニーズは十分にあるか。
- ・産業競争力強化に資するという目的に鑑み、「京」の産業利用は適切かつ十分か。
- ・「京」の利用者の選定手続について透明性は十分か。
- ・ポスト「京」の開発・製造費として約1,300億円（うち、国費約1,100億円）に加え、毎年多額の運営費が見込まれるが、これに見合う成果が得られるのか。